



2025.4 Vol.110

発行：野洲図書館  
(野洲市辻町410番地)

ヤングアダルト世代へ贈る、ブックガイド

tel 077-586-0218 fax 077-587-5976

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/>

「YAのページ」では、司書が週替わりでいろんなこと  
をつぶやいています♪あそびにきてね☆

野洲図書館のホーム  
ページはこちら→→



今号の内容は…

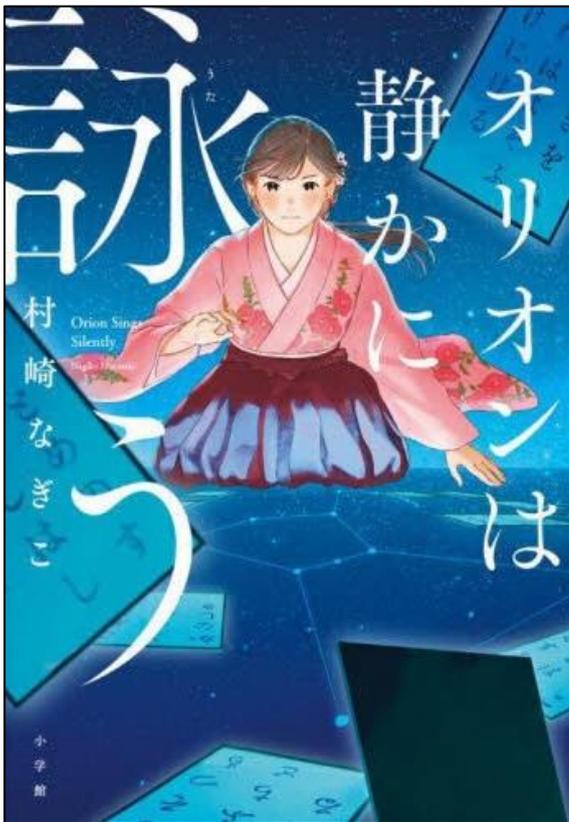
★表紙の1冊 ★司書のオススメ ★新しく入った本 デス

## 表紙の1冊

### 星の声、空の音、わたしの世界

# 『オリオンは静かに詠う』

村崎 なぎこ / 著 小学館 913.6/47



栃木県内にあるろう学校に通う咲季は、学校帰りにおひとりさま専用のカフェ「アライン」を見つける。そこには百人一首の本たちと、流暢な手話で語りかけてくる店主の陽子<ママン>がいた。ママンの勧めで競技かるたを始めた咲季にぶつかってきたのは、耳が聞こえない両親の元に生まれ、通訳を担ってきた「コーダ」のカナ。咲季は、かつてママンの元で学び、今はろう学級の担任でもある映美に歌の「読み」を手話にしてもらい、カナといっしょに宇都宮で開催される大会に挑む。しかし、直前に映美からもう通訳ができないと言われ一。

◆登場人物4人、1話ずつ代わっていく視点。ああ人の人生ってこういう風に重なっていくんだなあ、繋がりを感じました。「ピザまん」という単語を見た瞬間涙がこみ上げてきたのは、生まれて初めてです…。

滋賀県民としては百人一首といえば、近江神宮が思い浮かぶのですが、舞台は宇都宮。実際に50年近く百人一首の活動に取り組んできた、栃木県立聾学校ほかに協力を得て書かれた作品です。だからこそだと思のですが、「聴こえる世界」に対して揺れ動く咲季の心や、カナの強い決意が、刺さるように伝わってきます。あとは息をのむ試合シーン！読手ママンとシンクロする映美の指さばき、張り詰めた会場の情景が目浮かぶようです。(ざ)

# 👍 司書のオススメ 🗨️ Recommendation

魔法が無ければ。魔法があったからー。

## 『エンバーミング・マジック 魔法を殺す魔法』

茶辛子

著 KADOKAWA (MF 文庫)

B913.6/74



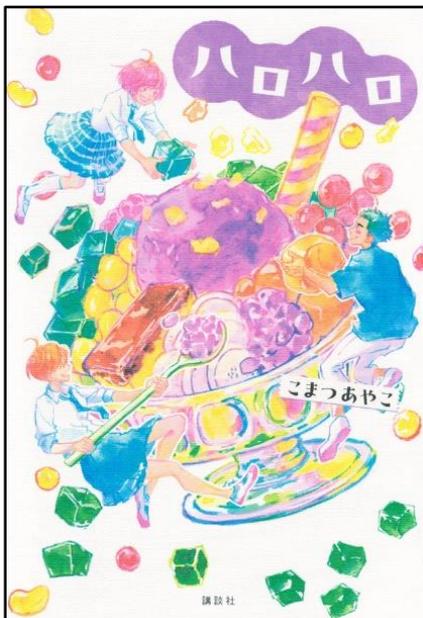
破壊魔法を得意としながら、普通の高校生として暮らす斬桐シズキ。ある日車にはねられた少女に対し、いやしの魔法を実行するも、失敗して彼女を猫にしてしまう。人に魔法を使うのは禁忌であり、「魔法憑き」の人間は、魔法を使えるようにならないと魔物と化す。この少女「ナギ」とともに師匠である千歌二絵の元を訪れ、ナギは魔法の練習を始めるが、なかなかうまくいかない。シズキの失った記憶、ナギの違和感、使えない魔法—これらが繋がったとき、魔法使いの生き方を問う戦いが始まる。

◆解放されていく記憶が辛い…！けれども見事な伏線です。破壊魔法なんて一見武闘派な魔法を得意としながら、生气に欠けるシズキ。戦いの傷あとも痛そうなんですけど、それより彼の心が心配で締め付けられました。やけにコミカルで飄々としたナギとの会話(ハリー・オッターのたとえ多いな！)も、真相を知ってからは見方が変わります。そんなシズキがどんな矜持を見せていくのか、次巻以降も楽しみです。あと、こういうタイプはいざっていう時めっちゃかっこいいって信じていました千歌師匠！！(ざ)

カヤモヤーン  
Kaya mo yan=君ならできる！

## 『ハロハロ』

こまつ あやこ/著 講談社 K913/コマ



オンライン英会話を始めた高校1年生・のの花は、講師のジョシュア先生の影響で、フィリピンのもっと知りたくなった。フィリピンの昔話を讀んだことからクラスメートでフィリピン人の家族がいる風羽と仲良くなって…。

◆世界の国のことなんとなく知ったつもりでいるけれど、そこに住む人と知り合うと、ぐんと身近に、もっと知りたいと感じます。一見キャラの違う、のの花と風羽の距離が一気に縮まったのは、大切な人のことを理解したいという気持ちが二人をつないだからなのかもしれません。なんといっても、ジョシュアを想い、フィリピンの昔話の再話に挑戦するのの花が尊い。のの花がマリアさんのフィリピン料理をとっても美味しそうに食べるので、アドボやハロハロが気になってフィリピン料理の本を借りてみました。(る)

唯一無二のあなた

## 『あなただけの物語のために』

あさの あつこ／著 筑摩書房（ちくまQブックス）

K901/74



自分をちゃんと信じる。単純なようで、実はものすごく難しい。ついつい「〇〇らしさ」という枠に自分を押し込めて、縛って、本心・本音から目を背けがちです。自分の内側を見つめて、唯一無二の「あなたの物語」を綴るヒント、探してみませんか。

◆楽しい時も、何気ない出来事で心が傷つく。自分が役立たずのように感じる、人に否定されたり笑われるのが怖くて自分を偽る…わかる！えっあさの先生もそうなのか。自分のことがイヤになる日も山ほどあるけど、少しでも自分を信じられるように、好きになれるように、ちょっと自分と向き合ってみようかな。（だ）

人生は、コーヒーのように苦い。

## 『それは、降り積もる雪のような。』

有澤 有／著 SBクリエイティブ（GA文庫）

B913.6/711



そこそこの好青年を自称する高校生・渡静一郎は、とある事情により知人一家の喫茶店に住み込みで働いていた。ある日、偶然同級生の董野澄花が自分に好意を寄せている(らしい)ことを知った静一郎。しかし渡は澄花の思いには応えられない事情があった。澄花は、静一郎が居候している家の一人娘だったのだ。

◆高校の同級生が、同じ屋根の下で同居しているなんて、フィクションの中でしかありえないよな…でも実際にはありえないからこそ夢があるんだよな～！お色兼備(?)な董野さんと、そこそこな好青年を目指す渡くん、2人がもだもだしながら距離を縮めていくのをやきもきしながら読んでました。タイトルに「雪」が入っているだけあり、確かに冬のお話なのですが、読んだ後味は雪解けのような、ほんのりあたたかい…というかなんかニヤニヤしちゃう感じ。これからちょっとずつあったかくなる、今の時期に読みたい。もちろん、読書のお供はコーヒーで。（だ）

## 『分身ロボットとのつきあい方』

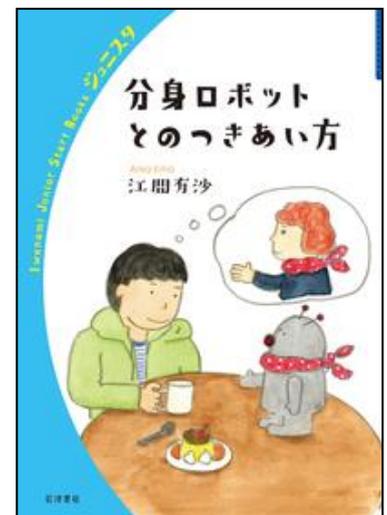
江間 有沙／著 岩波書店（岩波ジュニアスタートブックス）

K548

生身の自分と分身ロボット?!

離れた場所から操作することで、遠くの人とコミュニケーションをとることができる分身ロボットOriHime。操作する人(=パイロットさん)は、障がいや病気、不登校などさまざまな理由で外出できない人たちです。分身ロボットを使って学校の授業に参加したり、働いたりしている人たちの声とともに、その可能性と課題、そして未来の社会を考えます。

◆外出したいけれど物理的にできない人が分身ロボットを使って働く。一方で、内面の事情やその他の理由で外出できない人もいます。分身ロボットならではのメリット・デメリットから多様性とは、バリアフリーとはなんだろうと考えつつ読み進めました。多様性を掲げる時代だからこそ、技術だけの導入ではなく、みんなが、いろんな困難に寄り添える方法を考えられるようになったらいいと思います。（る）



# NEW ARRIVAL

↓あたらしくはいったほん(の、ほんの一部)です↓

タイトル		著者	出版社
ものすごい研究図鑑			Gakken
13歳からのグラレコ		樋口 美由紀/著	メイツユニバーサルコンテンツ
体育科高校 (なるには BOOKS 高校調べ)		山下 久猛/著	ペリかん社
美術科高校 (なるには BOOKS 高校調べ)		益田 美樹/著	ペリかん社
大学でどう学ぶか		濱中 淳子/著	筑摩書房
おとぎ話はなぜ残酷でハッピーエンドなのか		ウエルズ恵子/著	岩波書店
女子中高生が教える男子にも知ってほしい生理の話		高橋 幸子/監修	Gakken
なんで人は青を作ったの?		谷口 陽子/著	新泉社
ソフトテニス入門		川端 優紀/著	ベースボール・マガジン社
サイレント・ウィッチ 9		依空 まつり/著	KADOKAWA
水属性の魔法使い 第2部[5]		久宝 忠/著	T0 ブックス
若松一中グリークラブ		神戸 遙真/作	岩崎書店
少年名探偵虹北恭助のハイスクール☆アドベンチャー 上		はやみね かおる/著	星海社
転生したらスライムだった件 22		伏瀬/著	マイクロマガジン社
月の白さを知りてまどろむ 3		古宮 九時/著	ドリコム
Unnamed Memory 5		古宮 九時/著	KADOKAWA
保健室経由、かねやま本館。 8		松素 めぐり/著	講談社
やなやつ改造計画		吉野 万理子/著	あすなろ書房
ティアムーン帝国物語 17		餅月 望/著	T0 ブックス
おとなになりたくないわたし		夜野 せせり/作	ポプラ社
ここから出して		菊地 秀行/著	汐文社
ラブライターStories		水瀬 さら/著	Gakken
メイジー・チェンのラストチャンス		リサ・イー/著	作品社
86-エイティシックス- Alter. 2		安里 アサト/著	KADOKAWA
白き帝国 3		犬村 小六/著	小学館
死亡遊戯で飯を食う。 8		鶺鴒 有志/著	KADOKAWA
七つの魔剣が支配する 14		宇野 朴人/著	KADOKAWA
ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか 外伝[15]		大森 藤ノ/著	SBクリエイティブ
陰キャだった俺の青春リベンジ 7		慶野 由志/著	KADOKAWA
ツッコミ待ちの町野さん		にちよぴん/著	KADOKAWA
幼なじみが絶対に負けないラブコメ 13		二丸 修一/著	KADOKAWA
義妹生活-another days-		三河 ゴーすと/著	KADOKAWA
義妹生活 13		三河 ゴーすと/著	KADOKAWA
ミイハー		三月 みどり/著	KADOKAWA
イマリさんは旅上戸		結城 弘/著	SBクリエイティブ

編集後記：◆野洲市出身・結城弘さん待望の新作『イマリさんは旅上戸』が図書館にも入りました～！♡Xを見ていたら、なんとPVができています…！（fripSide!!我々の青春!!）コミカライズもすでに決定！IIIIIすごくくないですか?!楽しみすぎる!!（ざ）◆先日、車のトランクを思いっきり閉めたときに逃げ遅れて頭を強打しました。ゴーンとすごい音が鳴り響き悶絶。最近ぼんやりするのは頭を打ったせいなのかも…。（る）◆←私も先日、車（車高高め）から降りるときに着地失敗して転げかけました。車は危険がいっぱい…！（違う）（だ）